

# 第76回 全九州クラブ対抗テニス大会（ベテラン種目） 開催要項

1. 主催 九州テニス協会
2. 後援 福岡市・北九州市・北九州市教育委員会・朝日新聞社
3. 協賛 (株)ダンロップスポーツマーケティング
4. 日程・種目  
壮年男子 : 令和6年5月3日(金・祝)～4日(土・祝) 博多の森テニス競技場(砂入り人工芝)  
壮年女子 : 令和6年5月2日(木)～3日(金・祝) 博多の森テニス競技場(砂入り人工芝)  
シニア男子 : 令和6年5月2日(木)～3日(金・祝) 博多の森テニス競技場(砂入り人工芝)  
シニア女子 : 令和6年5月2日(木)～3日(金・祝) 博多の森テニス競技場(砂入り人工芝)  
但し、各種目とも参加チーム数によりパートを分けることがある。また、他種目に重複して出場できない。
5. 参加資格  
九州各県協会の加盟団体で、その団体所属者かつ九州在住の社会人(プロ、学生、生徒は不可、他団体からの補強は不可)未加盟団体の参加はできません。(参加団体は必ず各県協会への団体加盟をしてください。)  
壮年男子(45歳以上)は1979年12月31日以前出生者。壮年女子(40歳以上)は1984年12月31日以前出生者。  
シニア男子(65歳以上)は1959年12月31日以前出生者。シニア女子(60歳以上)は1964年12月31日以前出生者。  
参加資格を遵守してください。(参加資格違反が判明した場合は失格となりますのでご注意ください)
6. チーム編成  
登録選手は、壮年種目は5名以上8名以内、シニア種目は6名以上8名以内とする。  
(メンバー不足の場合、対抗戦が敗者となります。)  
(1) 同一団体からは、同一種目に2チームまで申し込みできる。  
(2) 各チームのクラスは、競技委員会で最終決定する。  
(3) 申込み後のメンバー変更又は追加は、各種目とも初戦の30分前迄に1名に限り認める。  
但し、ドロー発表後は原則として同一団体同士のメンバー変更は認めない。
7. 登録 登録順位に制限はありません。
8. 試合方法  
(1) ポイントは、壮年種目は1シングルス・2ダブルスの対抗戦、シニア種目は3ダブルスの対抗戦とする。  
但し、同一選手は各ポイントに重複して出場できない。  
(2) 原則として予選リーグ及び決勝トーナメント方式とする。但し、参加チーム数により変更することがある。  
(3) 原則として全試合8ゲームズプロセット(8-8 7P)。参加チーム数によりノーアドバンテージ方式とすることがある。  
(4) 試合の順序は、原則として壮年種目はD1・S・D2、シニア種目はD1・D2・D3とし全試合行うものとする。  
(5) オーダー順位に制限はありません。(ダブルスは登録順位に関係なくペアを組むことができる。)
9. 審判 原則としてセルフジャッジとする。
10. 使用球 ダンロップフォート
11. 表彰 (1) 団体は原則として優勝、準優勝、3位を表彰する。(2) 個人は最高殊勲選手、優秀選手を表彰する。
12. 参加料 全種目とも1チーム15,000円(申込締切後の不参加については参加料の返却はいたしません。)
13. 申込要領  
(1) **申込締切 令和6年3月21日(木)午後5時必着 厳守のこと**  
(2) 所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加料の振込票(コピー)を添えて、郵送又はメールに添付して送付ください。  
郵送の場合は早目に投函ください。メールの場合、添付する申込書(サイズ)を変更せず Excel 又は pdf としてください。  
振込票のみ写真添付でも可とします。  
〒810-0022 福岡市中央区薬院2-14-26 東洋薬院ビル5F 九州テニス協会「クラブ対抗」係  
E-mail : [gsyu-tennis@isis.ocn.ne.jp](mailto:gsyu-tennis@isis.ocn.ne.jp) Tel 092-722-1605  
(3) ドロー及び日程・注意事項等は、九州テニス協会のホームページに掲載致します。  
ドローの送付をご希望の場合は返信用封筒(中型12×23.5cm・宛名記入・94円切手貼付)を同封して下さい。  
(4) 参加料の振込先 福岡銀行 薬院支店 普通 1456921 九州テニス協会大会事務局 中野 生也(いくや)
14. 組合せ 令和6年3月27日(水) 競技委員会にて決定いたします。
15. その他  
(1) 本大会は、天候その他の理由により中止又は延期、変更となる場合があります。  
(2) 本大会は(公財)日本テニス協会「テニス規則」及び「トーナメント諸規則」を適用します。  
(3) 競技中の疾病傷害などの応急措置は主催者側で行いますが、その後の責任は負いません。
16. 競技役員  
ディレクター 坂本 有美 レフェリー 目代 良児 アシスタントレフェリー 中川 輝子